

平成26年度 行政評価の取組結果

行政評価とは、仕事の成果を数値などの客観的な指標を使って評価し、仕事の改善につなげる取り組みです。

平成26年度は、職員が評価を実施する内部評価について、行政評価庁内推進委員（職員10人から構成される組織）による第三者評価と担当課の部長及び課長による最終評価という2段階による評価を行って、評価の透明性と客観性の向上に努めました。また、行政改革審議会委員による外部評価も実施しました。

1 外部評価

【6事業】

項目	内容
対象事業	事業実施に多額の費用を要する事業、事業の妥当性、有効性等事業効果の検証が必要と思われる事業から6事業を抽出
評価者	伊那市行政改革審議会（有識者10名）

事務事業名	担当課	評価結果
選挙事務	選挙管理委員会事務局	事業内容の見直し
商工業振興補助	商工振興課	
除雪機械購入補助	建設課	
学童クラブ管理	生涯学習課	
公民館図書館管理	生涯学習課	
南アルプス林道バス運行	南アルプス林道管理室	

平成26年度 行政評価の取組結果

2 内部評価

【26事業】

項目	内 容
対象事業	原則として次の事業を対象外として事業の選定を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定型的な性質で、評価結果が毎年変わらない事業 ・ 施設保全管理マニュアルに基づき定期的に内容確認を行っている事業 <p style="text-align: right;">(委託または指定管理となっている事業は対象)</p>
評価者	行政評価庁内推進委員会（第3者評価）、担当課長及び担当部長（最終評価）

事務事業名	担当課	第3者評価結果	最終評価結果
友好都市交流（国内）	総務課	実施内容の見直し	現状のまま継続
市報の発行（取材・編集）	秘書広報課	実施主体の見直し	現状のまま継続
ふるさとCM大賞	秘書広報課	実施主体の見直し	現状のまま継続
信州大学との連携推進	企画情報課	拡大・充実	拡大・充実
国際交流	企画情報課	実施主体の見直し	実施主体の見直し
ふるさと大使・ふるさと人材バンク・特命大使	企画情報課	実施内容の見直し	実施内容の見直し
市・地区防犯協会	危機管理課	実施内容の見直し	実施内容の見直し
消費生活センター運営（相談・啓発、その他）・消費者行政	生活環境課	実施主体の見直し	現状のまま継続
交通安全協会	生活環境課	実施主体の見直し	実施主体の見直し
小水力発電	生活環境課	現状のまま継続	現状のまま継続
在宅重度心身障害者タクシー・ガソリン券交付	社会福祉課	実施内容の見直し	現状のまま継続
母子父子福祉	子育て支援課	現状のまま継続	現状のまま継続
シルバーハウジング生活援助（員派遣）事業	高齢者福祉課	拡大・充実	拡大・充実
緊急通報導入費扶助・監視事業	高齢者福祉課	実施内容の見直し	実施内容の見直し
ヤマブドウ新種開発研究	農政課	廃止	実施内容の見直し
特産物販売促進事業	農政課	縮小	現状のまま継続
ゴールドアドバイザー派遣事業	商工振興課	実施主体の見直し	実施主体の見直し
地域ブランドの推進	観光課	現状のまま継続	現状のまま継続
道路・河川愛護団体等事務	管理課	拡大・充実	拡大・充実
子どもと親の相談員配置事業	学校教育課	実施内容の見直し	実施内容の見直し
市民大学	生涯学習課	実施内容の見直し	実施内容の見直し
史跡高遠城跡整備	生涯学習課	拡大・充実	拡大・充実
史跡公有地化	生涯学習課	現状のまま継続	現状のまま継続
親孝行の讃歌事業	高遠長谷教育振興課	縮小	実施内容の見直し
長谷地区ふるさと創生活動支援金事業	長谷総務課	現状のまま継続	現状のまま継続
気の里ヘルスセンター栃の木	長谷保健福祉課	実施主体の見直し	実施主体の見直し